

1. 件名：原燃輸送（株）による核燃料輸送物設計承認申請（NFT-14P型）に係るヒアリング（3）
2. 日時：令和5年9月7日（木）13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※はTV会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出安全審査官、小野安全審査官、
山後安全審査官、山口係員※
原燃輸送（株）
設計・開発部長 他3名※
三菱重工業（株）
機器設計部 主席技師 他1名※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。
6. その他：
【原燃輸送（株）からの配布資料】
資料 NFT-14P型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請に係るコメントへの回答について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それではこれから原燃輸送株式会社とのヒアリングを開始いたします。
0:00:06	発言の際には所属と氏名を述べてください。
0:00:09	それから不開示情報について発言しないように注意をお願いします。発言してしまった場合にはその場でその旨を指摘してください。発言しない場合にはマイクはミュートにしておいてください。
0:00:22	それではですね
0:00:26	ホデさんの方から、
0:00:28	あ、どうぞ。
0:00:33	どうですか、資料を確認してるので、何かあえてポイントを説明したいところがあれば、先に聞こうかと思えますけど。
0:00:41	あります。
0:00:43	原燃輸送側で、
0:00:45	いただてるなら特区で確認いただてるなら特別、ご説明するところは、はい、ございます。
0:00:55	はいそれではちょっと気になるところ、またこちらからさ、等確認するという形で進めたいと思いますので、
0:01:04	はい。よろしく申し上げます。以降、
0:01:08	はいはい。問題が該当問題ないっていう。それで、そういうことです。はい。
0:01:16	あ、規制庁ですよろしくお願ひいたします。
0:01:19	お願いします。
0:01:24	小一井。
0:01:28	使う。
0:01:31	い。
0:01:33	後は、
0:01:37	今かな、ちょっと待ってね、ちょっと待ってください。
0:01:43	5番のところ。
0:01:48	すいません。5番のところで一応評価いただいて、主要なところはね、品を通して放熱されるということで、
0:02:02	なんか放熱面積の観点からいってもね、
0:02:10	要は関西の変形で、微々たるもんだっていうことなんで、ただ事実として、原燃輸送の方で評価した結果、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:21	緩衝体、こういう考え方に基づいて、緩衝体の面積が減ると仮定したときには、温度が上がるといふことであれば、これは申請書に一言書いておいてください。
0:02:36	なおでもいいですから、要は、
0:02:41	基本的な考え方として、研究は考慮しないということで、ただこっちの方が保守側であるということ、今というような書き方になってると思うんですけれども。
0:02:54	そこは
0:02:57	要は変形は変形は考慮しないものとして評価したと。なお局所的に緩衝体の変形して、したとして、ことに考えても、
0:03:08	プラスはこうで、85度以下は満足するといふふうなことになると思うんで、おそらくどっちがどうだつって全体で計算したときにどうなるかちょっとわかりませんけれども、
0:03:24	この回答のところ 22 ページの回答のところの一番下のパラグラフのところについては、なにがし申請書の方、
0:03:34	何か言及するようにしていただきたいと思います。
0:03:42	項番の 1 例で、Aのかな。
0:03:45	で、あとは、
0:03:51	コガは、
0:03:59	7 番の話で例の経過があるかという話なんですけれども、
0:04:07	何かこれ、こういうふうなこと多分これで実はこうなんでしょうけどもなんか経常的な確認は何かされたということでしょうかというのがまず 1 点。
0:04:20	で、
0:04:22	この
0:04:25	過去の実証試験結果よりということ、何がわかったのかということ
0:04:35	ここではね、今日は何かかって書いてあるんですけれども、何がしのもう少し、どのような結果だったのかっていうのをちょっと説明していただきたいなと思うと、
0:04:48	この実証試験っていうのはおそらく、
0:04:52	下の信頼性向上ということで実際に規則適合性云々の話ではなくて、レジカバーのところの熱荷重に対してどうだこうだって話なんですけども、これでいえるということの、ちょっと根拠についてご説明いただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:05:12	はい。
0:05:14	まず
0:05:16	5番のSRの記載への記載については拝承いたします。
0:05:22	続いて7番のレジンカバールのコメントについてですけれども、弊社の過去の実証試験結果、
0:05:32	試験では、
0:05:36	SAR上ですね八角形の、
0:05:40	形状詳細にモデル化しておらず、円筒形でモデル化しておりますので、実形状で実証試験を行いましたその結果等を
0:05:54	モデル化していない部分、つまり、構造の不連続、
0:05:58	の影響はなく、レジンが男のレジンカバールの目的であるレジンを保持すると、ナカナカノレジンを保持するという機能。
0:06:09	を確認しましてレジンだ、保持されていることを確認しています。よって、このモデルを使うことには問題ないかなと考え
0:06:23	ているところでございます。
0:06:25	規制庁ホデですけども、
0:06:30	かな、であればぜひ一つは、そのレポートって相当ボリュームがあると思うので、概要だけでもいいから、この旨については、
0:06:42	今、幾つか、ろ商栄の10行というところで幾つか補足説明資料っていうのはついてると思うんですけども、
0:06:51	その概要を、何がし、追加するなりしてですね、飛ばして実際こういうことであるけれども、実形状に基づく試験結果よりということで、
0:07:03	それがわかるような形で、申請書に展開して、することは可能でしょうか。
0:07:11	はい。そうしましたらちょっと、附属書2、その旨、記載したいと思えます。
0:07:18	もう一つなんですけども、
0:07:24	このSARのシナリオから、特別試験条件のところレジンカバールのレジについては、社員解析においても無視しているというところは、
0:07:36	こちらも理解しています。従って一般の試験条件、
0:07:41	のところが対象ということでもいいのかなあというふうに思いますけども、その多分、
0:07:51	電力バーのその目的は先ほど違うんじゃないか。違うっていうか結果としてこういうことがいえるっていうことではいいと思うんですけども、な

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

	ぜ一般の試験条件では、当然衝撃荷重とか何とかいろいろかかると思うんですけども、
0:08:07	この試験結果をもって説明できると、お考えでしょうか。その辺はどのようにお考えかというのをちょっとお聞かせ願えますでしょうか。
0:08:57	粘性あたりです。今、現状、SARの評価で、レジンカバーが円筒形のモデルがあってそれに対して、衝撃荷重が加わるという評価をしてそれで
0:09:09	持つことが確認されています。で、それで実形状はトラニオンのところとかが、円筒じゃなくて、ちょっと後形になってそれが、
0:09:21	塔本体と繋がるような、支持部が多いような状況にあって、衝撃荷重、0.3メートルナカとかの衝撃が加わってもし事務が多い場合、その
0:09:34	少なくとも、破断すること等はなくてレジンを保持する機能は維持できるというふうな考えでおります。
0:09:44	いや、
0:09:46	結果をいろいろ見てたんですけども、ちょっとこちら側から、
0:09:53	土肥
0:09:56	5、炉所へのね、5-1 から 5-3 と過去ずっとこう、応力の比較なり何なり見てたら、もともとは、要はその理事んカバーのところであれっていうのは、
0:10:09	A評価っていうのは、結局、二次応力が支配的だっていうことではないんですか。ですから、そういうふうの実態をちゃんと調べて、支配的なものなる。
0:10:21	ヒライ的なものは、むしろ一次応力ではなくて二次応力ですよっていうことで、それを踏まえて、形状が複雑なものに対して、どのような影響があるかっていう評価したんじゃないんでしょうか。
0:10:35	これは、市、市、
0:10:39	事実を確認としてちょっとお伺いしたいんです。
0:11:03	NSヤタです。考え方としてはホデさんがおっしゃった通りレジンかばう、碓井部材でも合っていないやつがそれ成り立っているので、熱の負荷が、
0:11:14	ほとんど支配的になっているだろうと、0.3メートルかとかの収益や、貫通部の落下に対してはそれほどの、その最終的な応力値への寄与は少ないだろうという判断ももちろんあった上で、
0:11:26	先ほどの説明とあわせて、プレゼンカバーが本来ないという判断をしております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:11:34	はい、規制庁殿さんあれば、すいません。よろしいですか。であれば、その概略で結構なので先ほど労働省。
0:11:45	炉小への熟考 2+附属書類には、その旨も、これのこの要は次。
0:11:53	なにがしのその部分も出ると思うんですけども、部分モデルでやった試験の位置付けと、これをもって、要は、
0:12:02	確認したということで、その試験が有効であるということがわかるような形で記載を検討いただきたいと思います。
0:12:12	持つことについて、については特に疑義は持っていないので、記載を、
0:12:20	適正に記載していただきたい。
0:12:22	ということで、よろしく願いいたします。
0:12:27	はい、承知しました。はい。
0:12:29	は、
0:12:32	一応、
0:12:36	プリントスパンだよ。
0:12:40	9番目のやってっていうページ。
0:13:08	はい。
0:13:18	特に考え方は
0:13:21	今回の回答で考え方についてはある程度は理解いたします。
0:13:31	と、それで
0:13:37	結論としては
0:13:43	もう5番やったって、
0:13:47	すいませんホデですけど
0:13:50	刀禰。
0:13:55	9番、9番。
0:14:00	9番の回答で、
0:14:03	崇敬例等も、
0:14:05	概ね
0:14:09	考え方については理解いたしましたということで、これについても、これ全部当然記載いただく必要はないと思うんですが、その
0:14:23	どれかな、
0:14:26	要は試験が有効であるということについては、何がし、今の記載、今の燃料集合体の落下状挙動に対して、
0:14:39	申請書の方にですね、必要な加筆をしていただきたいと思います、ということです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:14:48	で、
0:14:53	等、これ、
0:14:55	いいですか
0:14:58	何だ、
0:15:01	タービを出していただいているんですけども、要は、
0:15:07	当然
0:15:09	どっちかったら壊れるか壊れないか、その臨界解析における、今のモデル化、全スパン、その
0:15:20	再ガラスファンの1拡大が、チャンネルのうちがフルにっていうことに対しては十分に保守側だっということは、これで答えになっていると思います。
0:15:33	一つ確認ですけども、
0:15:36	ちなみに、この数字出てますけども、 の値に対して、応力的にも全然問題ないということは、もうすでに確認済みと考えてよろしいですか。
0:15:49	はい。確認しております。はい。
0:15:52	SIも下がるというふうに考えてよろしいですか。SI。
0:15:57	ていうか、0.2%耐力を下回る。はい。はい。ということで、いずれも破損しなくて、変形がこうだということであれば全然構わないと思いますので、こういうことで
0:16:10	問題ないと思います。で、あわせてB型についても、B型のこの試験結果っていうのは、今度は下から見ると、
0:16:21	同じような条件でや、
0:16:24	これは別に上下部のスツールを付け、装着せずにやった落下試験というふうに考えてよろしいですか。
0:16:32	はい、そうです。
0:16:34	だからいわゆる、どちらかという、燃料設計側でいろいろやられたデータを三種
0:16:41	から確認するようになったっていうこと。
0:16:45	という位置付けでよろしいですね。
0:16:48	はいそうです。はい、わかりました。
0:16:53	今の9番ですか。
0:17:08	はい。
0:17:10	10番ですけども、これでどこにあるんだろう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:17:16	20 ページから 29 ページ。
0:17:48	要はこれは原燃輸送 3 元輸送の方の説明の趣旨としては、形状が似てると、ということと、今回新たに
0:17:59	登用は一時衝撃と、二次衝撃のエネルギー吸収割合というのを、所則、その衝突速度云々で表現をして、
0:18:11	それに伴って、それ層の高さから落下試験をやったと聞いにどれぐらいの、枕に 4 トレンで緩衝体の
0:18:21	反力、赤井力っていうのが出るかっていうことを評価して、その結果、それに当たってみても、基本的に負担をフランジも、
0:18:33	一応健全性を維持できますと。
0:18:37	そういう趣旨というふうに理解したら、その趣旨で間違いないですか。
0:18:43	はい。それで問題ありません。はい、わかりました。
0:18:54	と、
0:18:56	この 7 番、(7)で 27 ページに書かれてる、この論文なんですけども、これってというのは、普遍的に使えるものという。
0:19:08	ものなのでしょうか。その辺は、どう、これはどういうものだから、この今回の NP 型の輸送物に対して適用できるというふうにご判断されたのでしょうか。
0:19:21	その辺の考え方を教えていただけますでしょうか。
0:19:28	はい。
0:19:30	こちらは鳥羽武野、ババから出てる試験、アース論文ですけれども、こちらと、今回弊社の方で、落下試験を行った結果、
0:19:42	評価したところを、概ね、一次衝突と二次衝突の所、
0:19:49	発足とすいません二次衝突時の衝突速度と、
0:19:53	概ね一致することが確認されましたので、この論文は、
0:19:59	適用できるということ、NST 型には適用できると判断しました。同様に、同様の
0:20:10	形態である GNP14P 型にも、この論文を適用できるということと判断しまして、こちらを適用させていただきました。
0:20:26	この論文を元木クリブなこと言ってんじゃないでしたっけ。だから、だから要は、それを実際の形状にしたら、こうなるかなり物理的な基本的なところ、
0:20:37	の話をしてたように記憶してるんですけども、そういうことではないんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:20:47	定年制だったんです。おっしゃる通りですね、この論文って結構単純な体系、普通の5の場合の冒頭、永里質量から計算されているものなので、
0:21:00	本田さんがおっしゃったように、その増し、
0:21:04	簡単な体系であるからこそ一般的に、
0:21:09	まずものだなという判断があります。その上で、試験、NFD型の落下試験と比べて、やっぱり先ほど野島が説明したような衝撃速度とかを比較してやはり使えそうだなという判断に至ったということで、
0:21:24	はい、わかりました。どうぞ。
0:21:27	ある程度定量的なね、アプローチされてると思いますので
0:21:33	この辺はこれで
0:21:37	こういう説明が今、適切かなというふうには、判断します。
0:21:42	従って
0:21:45	むしろ、どういうのかな。
0:21:49	と、
0:21:50	要は説明いただく上ではですね、要は、このもともとの試験体が、その評価をする上で適用できるというところ。
0:22:01	が、まず一つ。それに従って基本的な物理的なもう防災運動みたいな、法則にのっとってやれば、結果こうなったっていう2本立てというふうに理解しますので、
0:22:14	その辺がわかるように今のの所への10行の幾つか忘れましたが、そこで説明を展開するようにしてもらえたらと思います。
0:22:27	一応そういうことを考えて、要は申請書の修正適正化を図っていただければと思います。以上です。
0:22:37	はい。承知しました
0:22:41	落下試験と、あと、こちらのピン反力を考慮した構造健全性の評価を、
0:22:50	そうであると思います。
0:22:53	よろしくお願いします。
0:22:55	え。
0:23:02	中でしたっけ。
0:23:12	11なんですけれども、
0:23:16	11は、
0:23:19	これは
0:23:21	かなり細かい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:23:24	細かくはじいた数値を示していただいていますけども、
0:23:29	小令和、一応、最大重量と最大、この細かい文化その機能と、10 キロ単位までの数値が出てるといふう
0:23:41	に認識すればよろしいですか。
0:23:45	はい。最大重量を記載しています。だからすべて最大重量で、さらに、あの時は、丸めてたと。
0:23:53	要は、実際それに対してさらに丸めて、記載をしたということで、
0:24:00	間違いないですか。
0:24:01	はい。その通りでございます。わかりました。
0:24:08	えっとですね、12 番なんですけれども、
0:24:15	ここを数値で
0:24:24	まず 7 トンを引きましたということと、ちょっと細かい話をして申し訳ないんですけども、
0:24:36	と、それでね、プラス、水の量とか何とかで 0.5 トンって書いてあるんですけども、
0:24:44	これと、ろ小Bの 4 ポツ 4 の内圧を計算のところの水の量、満水時の話と、満水時と、水位調整した後の
0:24:59	重量なり、重要な体積なり出てるんですけども、そこを見ると、約、
0:25:08	要はそのもともに対して 700 キロぐらいの差があったと思うんですけど、この 700 キロとこの 0.5 トンの相関って、何かどう、どう考えたらよろしいんですか。
0:25:19	細かい話で申し訳ないですけど。
0:25:30	丸めた数字でちょっと言いますと、水調整した後が約 4 トン弱ですね。で、4 頭だったかな、 ■ 、何とか立米だったと思いますんで、
0:25:44	満水のときっていうのが、約 4.7 立米になったと思うんですね。
0:26:34	すいません。ちょっと確認させてください。すいません。
0:30:02	それでもいいんですけど、
0:30:06	慎重性だけだからいいですね。うん。うん。
0:30:22	すいません私ました。
0:30:27	んです。
0:30:29	こちらのろ紙を日に変えて、期待してルー計算はふた膨張室内にすべて水が入ってる状態を加味した、体積ですけども、
0:30:43	実際の取り扱い時には、校長室に満水にならないというような想定で、
0:30:53	こちらの回答案を作成しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※ 3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:30:56	はい。
0:30:59	わかりました。要は、確認ですけども、ちょっと事実として合ってるかどうかという確認ですけども、ふた膨張室っていうのは、穴が下向いてるから、要はかぶせた時にそこに水が入ってくることはないだろうと。
0:31:13	当然水中で沈めてるわけだからその水が排水されて、そうすると、約200キログらいは、200キログらいのふた膨張室のところの、
0:31:26	堆積っていうのは、縦置きでやってる時には水は入らないだろうという考え方に基づいたということで間違いないですか。
0:31:35	はい。
0:31:36	おっしゃる通りでございます。はい、わかりました。はい。
0:31:41	一応見といてくださいね。傍聴室の堆積、
0:31:46	はい。
0:31:48	はい。
0:31:49	あまり大きな話ではないんですけども、一応、
0:31:54	数値細かく細かいんですけども数値出ると、出てることと、申請書に書いてあるところというところが、なかなかの整合という観点でやっぱり気になってきますので、
0:32:06	ちょっとご説明はよくお考えいただければと思います。
0:32:12	はい、大久保さんお願いします。はい規制庁のですね13番についてなんですが13万について一応前回のコメントというか質問の趣旨から、
0:32:22	実は前回質問した趣旨としては、中性子吸収アノ申請書に中性子吸収断面積は小さいから主要業務CLだけ書いて、これだけだとちょっと記載がざっくりし過ぎてるんで詳細というか、
0:32:33	どういった同意、
0:32:36	はい。ごめんなさい。どういった幾つかの名前についてはそれ—中性子吸収断面積も異なるので、どういった首藤現存の温床反応というかもう動を想定して、
0:32:49	中性子吸収断面積が小さいから、その強みを無視できるところが少しカバーしたこと等の説明をお願いしていたんですが今回回答を見ると、
0:33:00	ざっくりと言ってしまうと、出世Cの吸収が起きて大丈夫ですっていう形でちょっと、
0:33:07	ももとの記載等、今回返ってきた説明の内容は変わってると思うんですが、こちらは何か理由がありますかっていうのが1点と、その上でなんですがここに書いてある記載の通りで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:33:19	中性子吸収に伴う同意、
0:33:21	鉛が中性子を吸収する場合どういうふうに変化するのみであることから って書かれているんですが、
0:33:27	ただ残念ながら、多分、
0:33:29	名前の 209 については安定同位体じゃないので、
0:33:32	209 ができてしまうと、鉛はどうも減っていくと思うのでこの機械自体は あまり正確ではない。
0:33:38	のではないかと考えてますがいかがですか。
0:34:16	それだから、改めてJNESの島津聞こえておりますでしょうか。はい。
0:34:23	すいません。
0:34:25	鉛の 209 についてはおっしゃる通り、ビスマスも変わるかと思うんです けども、
0:34:34	中性子吸収断面積が小さいことと、あと短時間で、
0:34:39	変わってしまうと、阿藤小の同位体比を見ると、これでほぼ 100%なの で、
0:34:45	中性子吸収
0:34:48	同位体に変化するのみというふうに記載をさせていただきましたが、
0:34:56	少し記載は、
0:34:59	細かいこと言えばちょっと違うかなとは思ひ。
0:35:02	ますので、修正させていただきたいと。
0:35:05	そうです。その映像ですが、実際の放射線吸収断面積が小さいことから 必要限数は無視し得るから何か、
0:35:15	どうぞ。
0:35:16	方向性を変える必要性って、なんかどういった意図で、
0:35:19	回答の排除というか、
0:35:22	記載を変えているのか、あまり良いかないですか。これはもともとの 記載だけだと不足しているっていう判断。
0:35:30	不足しているというのは、方向性としてですか。
0:35:37	中性子吸収断面積が小さいことわあ、
0:35:42	この表をご覧いただくとわかるかなと思ひこの表を追加させていただきました けれども、
0:35:52	方向性が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:35:56	説明を見ると、起きて大丈夫ですという回答に変わっているように見えて何か今後こういう方向で何か申請書を記載してるように見えるんですけど。
0:36:07	桐谷。
0:36:09	どっちがここで説明されようとしてるのかわかりません。
0:36:12	断面が小さいから起きにくいから大丈夫ですよっていう説明をさせようとしてるのか起きて大丈夫で必要なのか、はたまた両方のミックスで説明されると思ってるのか。
0:36:21	ここは一旦、
0:36:23	整理していただいた方がいい。
0:36:26	います。
0:36:27	原燃輸送ヤタです。こちらの表でありますように、先ほどもちょっとありましたけど、鉛に関しては、204とかから208に基本的には変わっていくと、途中に変わっていく過程では、
0:36:42	修正吸収だ飯があれそれなりにあるとはいえ、その場合は208、向かっていくので、質量減損とかはないで208から2まで急に変わってしまえば先ほどおっしゃったようなビスマス変化があるので、
0:36:54	出漁減損があり得るという話になるんですけど、その208から209に変わる点では、中性子吸収断面積が小さいので、その意味で市アノ
0:37:05	この中性子吸収断面積が小さいからさ、最終的なビスマス1への出漁減損を無視し得るみたいな理屈を考えているので、どちらかとだ。
0:37:15	なんかはしてっても質量は減らないし、最終的な質量、
0:37:21	が減るような反応に関しては、中性子吸収断面積が小さいから無視し得る。
0:37:26	規制庁の根井です。はい。もともとの申請書の記載を見ておそらくそういうことなんだろうなと想定していたんですがその旨を明確に確認したかったので今回ヒアリングさせていただいて、わかりました。はい、事実関係はわかりました。
0:37:39	それで、
0:37:40	基本、
0:37:41	わかりましたはい。
0:37:42	ありがとうございます。
0:37:44	その辺、申請書の記載は、
0:37:47	その修正の要否については

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:37:50	用途、
0:37:52	だから、今の場合だって用となっていて、
0:37:55	どうも。
0:37:56	起きてても大丈夫ですっていう方向にシフトしようとしてるように見えるんですが、
0:38:02	漏えい分の 10 ページご覧いただきたく、
0:38:09	中性子吸収する場合において、
0:38:13	小さく急中性子を吸収する場合においても、
0:38:19	最後の質量減損は無視し得るのではないじゃない、小さいから、
0:38:27	のみである。また最終的には生成物の中性子吸収断面積が小さいから、
0:38:34	無視し得ることからどっか、
0:38:37	ちょっと少しこちらの方をさせていただきます。規制庁ですのももとの記載の中性子吸収断面積は必要件数は無視し得るっていう説明方向性は、
0:38:52	変えないまま記載をちょっと詳細にするような方向で見直すようなイメージでよろしい。
0:38:57	ミヤマアノそのようにします。わかりましたはいありがとうございます。
0:39:01	以上です。
0:39:05	川合。
0:39:06	いいですか。はい。
0:39:10	4 番は、
0:39:11	はい。です。
0:39:29	え。
0:39:30	と。
0:39:31	15 番の説明なんですけどもこれは、一応理解をいた強いました。確認ですけども、熱的には、いわゆる、
0:39:43	■■■■の燃料、これの■■■■日冷却っていうのが一番発生すれば高いという事など、いうふうに今日は理解いたしました。
0:39:56	あと、ただ遮へいの時には、確か、ここできさがある。3と5と6というよ。3と4と6だったか3と、安里4と6かな。
0:40:10	というところで何かこう比較されてて、それぞれは、例えば、
0:40:19	タイプ4っていうのは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:40:22	あれですね冷却日数が短い高燃焼度ということで、丹治さんのままでいうと、要はいわゆるその燃料領域の岩盤は高くなるんだろうけども、
0:40:34	他のところ、構造材放射化とか何とかっていうのは、 XXXXXXXXXX まで動いた方が高いからっていうところで、それぞれやられたと。
0:40:48	ちょっとこの質問に対する回答の趣旨とはちょっと変わってきてるんです。ちょっと違うこと言ってるんですけども、そういう観点で熱はこの
0:40:57	タイプ3があり、タイプ3が、いわゆる54kWであるところの設計圧熱量を54kWとしたところの根拠になる。
0:41:09	主要ですと、
0:41:12	ほかに遮へいのところではそれぞれ冷却日数じゃなくて照射日数の長いやつで、放射化とか何とか決まってくるからこちら側でいくと。
0:41:24	あとはその中で冷却日数の短いナガエがあるんで、だからおそらく56というのが、
0:41:32	オダ6とかというのが、中性子もこちらがチャンピオンになるんでそれぞれチャンピオンなるものをそれぞれ選んだ上でそれぞれ
0:41:47	熱解析の発熱量なり遮へい解析の線源強度なり、その辺ちゃんがそれぞれずれてくるんでそれぞれ選んでやったというふうに理解したんですけどその理解で正しいとか、
0:42:02	はい、その理解で正しいです。
0:42:06	はい。横井委員、岡議員。
0:42:09	わかりました。今、
0:42:16	次の10期、いいですか。
0:42:19	よろしいですか。はい。ですけども。すいません。規制庁、山東ですけども。
0:42:28	サイトウ説明資料NOを、
0:42:31	今野です。
0:42:33	中尾社長、14、15番、15番。
0:42:38	名称がアノねえ。
0:42:43	ええ。
0:42:46	その提言として、54を超えないように、
0:42:50	ていう。
0:42:51	どう。
0:42:53	入れてはいるんですけども、
0:42:57	今の説明で全部確認した上で、何かこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:43:02	会っていったらいいのか。
0:43:11	やってる。
0:43:13	ていうことで、
0:43:19	すいませんちょっと後に申し訳ない。
0:43:24	えっと、はい。
0:43:27	16 番なんですけども、
0:43:30	中身は大体理解できるんですが、
0:43:36	例えば、ちょっと気になったのは、レジの温度も、5 から 6 度ぐらい、過去の 54kW ベースのところから上がっている。
0:43:48	輸送物の表面の温度を太陽熱アリタし、それぞれも上がっていると、いうことになると、見直しがここで見直されたことっていうことが、
0:44:02	それに対して、それを影響するのかなと。で、熱影響は歩崩壊熱量っていう、いうものについては別に、先ほどの話じゃないけど 5 とか 4% と関係なしで 54kW っていうのが 1 決まっていると。
0:44:18	ということがあると思うんですけれども、要は、なぜ、なぜなら、レジの温度は上がったのか、表面の温度が若干高く、
0:44:29	確か昔、耐熱なしのところ、側面の温度って 69 度とか 70 度ぐらいだったと思うんですけれども、なぜ今回
0:44:41	たかだかこのぐらいなんですけどもちょっと事実としてですね、それが上がった原因っていうのが、ここで言われてる説明とはちょっと違うのかなという飲酒、いうふうに考えられます。
0:44:53	例えば、下の間、緩衝体均質化っていう話であれば、これは輪切りモデルから評価されたものではなくて全体モデルから評価されたもののはずだから、
0:45:04	特にそれはねじの温度とか何とかの道路、道路代表部分の温度とはあまり関係がないというふうに考えられるので、ちょっと風化すると、なぜ
0:45:20	なぜ、表面とかね、人の温度とかが上がってんのかと。その温度が上がってくる。
0:45:27	端的に言えば表面温度何で上がったんですかっていうことをちょっとお聞きしたかったっていうのが、そもそものこの確認の趣旨だったんですけども、その辺はいかがでしょうか。
0:45:40	おっしゃる通りですねところを類似設計の SAR から、高燃焼度燃料導入した時の SR に変えるときに、
0:45:54	これあくまで 1 部分で、もっといっぱい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:46:00	変更してるんですよ。
0:46:02	レジンの温度に寄与しそうなところを、とか表面の温度に居室のところをピックアップしてこれ、今回、書かせていただいたんですけども、
0:46:18	そのほかにも、水の熱伝達率を変えたりですか、
0:46:25	等メッシュの数を換えたりとか。
0:46:31	やっているんですね。
0:46:36	あと漏えい燃料収納管が、その高燃焼度導入、導入前に入っていたんですけども、一応それは
0:46:42	未申請なので、
0:46:44	その収納課が考慮しないモデルにしたりですか、
0:46:48	いろいろ変えているのでそれも含めて変わっている。
0:46:57	うんホデですけども、
0:47:01	今ご説明いただいたところっていうのは、だけどあまり、この全体がかさ上げされてるという意味合いとはちょっと違うような気がするんですけども。
0:47:11	いや何か例えばね、要は、雰囲気と、雰囲気と雰囲気と、
0:47:20	輸送物表面のね、伝達係数を何か触ったとか、例えば、
0:47:28	たとえ、品の形態係数を何か変えたとかね。
0:47:33	そういうことじゃないから、ちょっと考えづらいなっていうところがあるんですけども、何かその辺は何か、その先ほど類似設計の高燃焼度化のときに、
0:47:43	どんな見直されたのかなあということをちょっと、
0:47:47	特にそこに報告していただいて結構なんで、その辺を教えていただけますでしょうか。
0:48:00	N-Sハッタです。今、ちょっとご提出させてないんですけど当時のモデルの皆おしいの変更点とかをちょっと一覧とか確認してるんですが、
0:48:12	その表面が下主に変わりそうな事項は変更していない。
0:48:18	という理解、メッシュを細かくして
0:48:22	している観点で輪切り版ピッチモデルの外側の放熱品の、
0:48:30	ちょっと寄与が変わったのかもしれないのと、
0:48:35	ない水の熱伝達率ぐらいしかちょっと、
0:48:39	思い当たりそうなものがない。
0:48:42	ケースはもう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:48:44	ただ、今ね、示されてるやつですすでに類似設計っていうのは承認されてるといことと、
0:48:54	そのことが、類設計のハードウェアに対して、全試験やられて、問題ないということなんで、特にこれ以上
0:49:04	この申請に対してね、疑問を持つという疑問っていうか、適正化をしなきゃいけないっていうところはないと思ってるんですけども、ただその辺の経緯とか何とかっていうのは、事業者としてしっかり
0:49:16	確認、確認して、なんで昔と違うのかというところは、何らかの別のステージかもわかりませんが回答できるようにしたいだけだと思います。
0:49:28	はい。これはもう
0:49:31	今回の時、
0:49:33	今回の申請分ではもうこれ以上、確認することはないというふう考えてます。
0:49:39	ただいまの申し上げた観点で、いろいろ、しっかり答えられるようには努めていただきたいなと思います。
0:49:51	年宗ヤタ先生から承知しました。はい。
0:49:59	崩壊再々いい。
0:50:02	17番はOKエザワ。
0:50:05	18番も、
0:50:08	OKです。
0:50:13	19番もOKです。字だけです。
0:50:19	20番。
0:50:24	15
0:50:44	はい。この、
0:50:47	熱意の変形を考慮していないということは、ということについて原燃輸送側の考え方としては、
0:50:57	実物大の、実際、直訴の文と同じ供試体を用いたで、
0:51:05	耐火試験ですね、電中研で行われたもの。
0:51:09	で、それに対して考慮しない方が保守側ですよ。
0:51:16	その結果に、要は環境温度とか耐熱の補正をしても、
0:51:21	問題なかったよ。
0:51:22	そういう趣旨と疾患として理解しましたけどそれでよろしいですか。
0:51:31	はいその通りでございます。はい。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:51:34	終わりました。へえ。
0:51:40	で、ペーパーとか、
0:51:54	はい。はい。
0:51:56	です。
0:52:01	一応、とにかく試験に基づく結果に対して保守側だけ変えられているというふうに、というふうに理解しました。はい。
0:52:17	21番なんですけども、書かれてることはその通り、ということで、
0:52:26	実際に、
0:52:27	いろんな電試験とか、製造、類似設計野瀬、
0:52:35	全然試験とか何とかということだと思っんですけども、
0:52:42	ただ
0:52:44	なぜ、その内水の、そうなると、保守側なのかっていうことは、今、どのようにお考えですか。
0:52:53	この最初のパラグラフ、
0:52:56	最初のパラグラフに対して、これがAなの、こちらに繋がるということの、は、
0:53:05	どうお考えですか。
0:53:07	原燃千葉です。この実証試験の時にですねキャビティ内水の温度も測ってまして、ちょっとすみません、こちらに記載していないんですけども、
0:53:19	上が横尾金した時の上半分の音頭を取ってまして、
0:53:25	平均すると大体170度ぐらいですよ。
0:53:30	下の方はかかってないんですけどもそれよりも下がってくるだろうと。そうすると170度以下には平均内線の平均温度になるので、
0:53:40	それと今回の解析で評価した平均を170比べると、
0:53:51	保守的な評価になっているという判断でこちら使っております。いや、だから、だからなぜないやつに繋がるんですかっていうこと。
0:54:00	どのようにお考えかっていう、
0:54:02	来てる。
0:54:08	水の膨張量の話ですか。
0:54:12	だったから、ご説明いただけますか。
0:54:27	いや、すみません。
0:54:29	温度が高いということは藤水野。
0:54:33	傍聴も、それだけ保守側に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:54:36	評価できるので、
0:54:39	こちらを使っても問題ないと。
0:54:44	そうですね。もう1ポイド率があれなんですよ。実際はポイド率が、フルにやってる時の、要はポイルは実際計算でられてるポイドってずっと、要は、
0:54:54	実機に比べて
0:54:56	厳しいっていうか、ほとんど空隙の体積なくなるような計算やってるってところは保持性ということによろしいですね。
0:55:05	阿曾そうですねはい。はい、わかりました。
0:55:11	22番ですね。
0:55:44	20ページ33の説明なんですけども、
0:55:47	要は、ここの趣旨というのは、当然線源強度高いんだろけども、もともと持ってるモデル化で水アサノ
0:55:59	水の朝、厚さを薄くして、薄くするとモデル化上薄くなるという、モデル化をしていることで、その保守性によって、ここで多少上がっても吸収されるという、
0:56:14	一つ理解したんですその意図で間違いないですか。
0:56:20	はいその通りでございます。
0:56:26	わかりました。一応ですから、
0:56:35	同じモデルだったら高くなる可能性あるわけですね、これ。
0:56:43	原燃かったです。同じように
0:56:46	全面、
0:56:48	空気層があるような、水圧、水の厚さ ■■■■■ のモデルのままで、どこか180°側の
0:56:57	燃料の線源がふやしたら、ちょっと高くなるという数値家にはなる。
0:57:03	後で、
0:57:04	ただ、実際にはその180度カーに置かれる燃料、この辺、
0:57:09	180度側、平均を超える燃料が収納される。
0:57:13	場所なんですけど、そちらは絶対に水が、解析モデル上よりもあるので、評価上は問題が評価上とか実際は問題ない。
0:57:27	趣旨は理解いたしました。
0:57:40	これ何か予想がつかますか例えば、要はトータルで、平均燃焼度で考えてみて、例えば
0:57:49	先ほど、普通の貯蔵キャスクとは逆になると思うんですけどね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:57:53	今の熱解析のやつや、熱解析の考え方だとセンターにそれなり上の方に、低いものっていう
0:58:04	ものを入れると。
0:58:06	本当はこんなにもいかないよと。
0:58:09	いうふうなことは、何か確認できますか。
0:58:15	おそらくこれ資産もあるのは当然だと思うんですけども、やはりその、
0:58:19	線源強度が高いものがね、要は非常に近いところにあるという、いう結果なんだけど別の観点で保守性が確保されてるという説明になっているので、
0:58:34	実際として問題があると思ってないんですけども、
0:58:38	説明の仕方としてどうなのかなということで、
0:58:45	なかなか今の解析モデルを、また、何層か分けるっていうのもまた非常に難しい形ことなのかもしれませんけども、
0:58:55	その辺の確認は何かできていないですかね。
0:59:00	磯山です。ホデさんも多分ご理解した上で、
0:59:06	ご発言されてるんだと思いますけど現状のそのRZモデルで、かつ、NT方が水位を持つというちょっと特性を加味した上で、安全評価に用いて
0:59:16	モデルを使って、では、
0:59:20	どうしてもこのそ 180 度バーに置かれる、平均を超えるかもしれない燃料に対しての評価というのはちょっとなかなか難しいものがある。
0:59:31	どうしても、DOTではなくって、もっと、
0:59:36	にすんなども、シンプルな評価点線源をそこにふやしてあげて、遮へい厚をそこだけ遮へい圧を今のみ
0:59:46	そっから [REDACTED] ぐらいして、それで評価するようなことなら可能かもしれませんが、それは今ここで記載しているように、真水の厚さがこれだけ違うんだから、
0:59:59	さすがに現状の評価よりも下がりますよという
1:00:02	説明をちょっと補足する程度のもになります。本当にやろうとするとM CNPとかをやらないとちょっとこの、
1:00:10	外周部に平均燃焼度を超える燃料が配置された時の評価というのは、なかなか
1:00:16	できない。
1:00:17	かなと思う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:00:20	別に4月ですけども、
1:00:24	これ今中国ですよ。
1:00:27	例えば中性子が非常に勝つようなところ。
1:00:31	そうだから例えば、底部径方向とか、そういうところっていう、
1:00:37	ところに対して、これぐらいのレベルが上がったとしても、余裕はある ということは、確認済みと考えてよろしいですか。
1:00:47	やはりそれは確認済みです。はい。
1:00:51	はい、わかりました。
1:00:54	これはもう、そういうことで
1:00:58	評議員、
1:01:00	はい。理解しました。はい。
1:01:02	結構、私の方からは以上です。
1:01:10	計上サンゴですけども、ヤマグチさんの方からであります。
1:01:16	山口です。私の方から特に追加で対応を求めるようなコメントはなくて私 が4島野瀬結コウノ食について、
1:01:29	ただ23の緩衝体のさ、最高温度についてもこれ追加で、
1:01:34	本日のPM後っていうことで、してるんですけど、そういうふうにはアリン グ資料でいただいた回答の内容と申請書の酒税の
1:01:44	正の方針というところで、特に確認できましたので、特段追加はありま せん。ありがとうございます。はい。わかりました。はい規制庁、すいま せん13番に戻って最後に念のための確認なんですけど、先ほど209の
1:02:00	から mismatch の会社が気にしますってことで一応20、名前に丸をもう 放射性同位元素なんですけど、こちらは、
1:02:07	半減期がとてもし長いので気にしてないっていうそういう認識でいい。
1:02:21	少々お待ちください。
1:02:31	本当は短い半減期の長い話が出てくるんじゃないかと思ってるんじゃない かなっていう、
1:02:43	調べて、
1:02:44	はい。
1:02:45	最初に牧野君短くしてありますねっておっしゃってたんで多分、
1:02:49	よかった。
1:02:51	永井から意図的に言わなかった
1:03:32	いや、多分ハンケン切れるんだよ。
1:03:35	オンダアベ×

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:03:37	で一生懸命、
1:03:39	1060 から 70 年ぐらい。
1:03:42	金融、
1:03:44	或いは、
1:03:48	上イケダよったんです。
1:03:57	何でも通りで言ってるんじゃない。
1:04:01	まだ押しかけられてるじゃない。
1:04:11	鍵付。
1:04:13	技術。
1:04:14	確認というか、
1:04:16	FTキャスク検定をやってるような気がしちゃう。
1:04:20	どこまでこの人が設計して覚えてるのかな。
1:04:27	願いとかは、
1:04:36	原燃輸送です。205 については、
1:04:44	ちょっと同位体比も、
1:04:48	の中にも入ってなくてですねちょっと
1:04:52	反応も、Nが反応な、
1:04:57	多くてですねちょっと着目はして、あんまりしてなかったんですけども、
1:05:13	中性子吸収断面積という観点からいうと、小さいというかないというか、 なので、今、同様に、
1:05:27	先生の中には影響ないかなと考えています。
1:05:32	給料幻想を無視できるかなと考えています。
1:05:35	規制庁、
1:05:39	規制庁、退避っていうのは 204 ーってくれた 1.4%。
1:05:46	そうですねはい。
1:05:48	いえ、一般の断面です。
1:06:01	ホールですか。
1:06:26	ウエイトは、御説明は 204 から 205 の反応が起きにくいですよって話です。
1:06:34	赤瀬友野です。
1:06:39	原燃さんです。す、そもそもの話はさ、おっしゃった通り 204 が同位体比が少なくて、さらにそれが変化する先の話なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:06:51	ちょっとあまり主要な拍手というか、というかあまり追ってなかったのが正直なところ、そう。
1:07:01	経常的リー。
1:07:04	手元で拡販元気が10-6乗とか70年ぐらいのオーダーなので、そっちの理由でかと思ったんですがそうではない。
1:07:13	そうではないです。
1:07:16	でも、いずれにしておそらく、
1:07:19	問題になるようなレベルではない。
1:07:21	わかりました。はい。基本的に鉛の同位体比、ここの4核種で100、ほぼ100%だったっていうのもありますし
1:07:30	そういうことをあまり見てませんでした。わかりました。はい。
1:07:42	勉強になるよね。
1:07:44	すみません、規制庁佐野です。先ほど途中で止めてしまって申し訳ありませんでした
1:07:51	下の方のところでのコメン等だけではないなと思いましたので、ちょっと最後まとめてお伝えしたい。
1:08:00	お願いというかお伝えしたいんですけれども、
1:08:04	いただいた資料の中で、修正の要否、ではそちらでのお考えが採用されてるんですけれども、
1:08:15	一応ねヒアリングをしないと、というふうにこちらが考えるというのは、
1:08:22	その申請者の説明からは読み取れない。
1:08:26	ということ等で説明不足とかっていうところを補って欲しい。
1:08:32	っていう意図があるんですね。
1:08:34	幾つかは、補正でこういうふうになお、文章補いますっていうのはあるんですけれども、
1:08:41	フカワなんか、
1:08:43	当たり前だろう、こんなの申請書の記載がない。
1:08:48	説明金はわかるっていう、もうそもそも知ってるのが当たり前なんだよみたいな感じで、
1:08:54	修正の要否に何かもう修繕しませんみたいな。
1:08:59	何か
1:09:03	ちゃんと書いてないと。
1:09:07	知ってる人はわかるかもしれませんがけれども、
1:09:12	そう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:09:15	なんていうんですかね。
1:09:18	ある程度のレベルの人はわかって当たり前っていうのはもちろんあるとは思うんですけども、
1:09:25	ヒアリング自体では、その専門家がいてるっていうのはもちろんありますけれども、申請の内容とかを、
1:09:35	一般の人とかも、見るわけなんですね。
1:09:40	その中で、規制庁どういうふうに見てるのかとか、事業者がどういうふうにしてるのかっていう中で、
1:09:48	やっぱりその基礎的な知識が不足してるとか、
1:09:52	ただ単に知識不足、書いてないのになんで、わかるんだろうみたいなところあると。
1:10:00	いろいろう。
1:10:02	さらなる質問、その効果請求とかで管理とかして、
1:10:11	そちら 2、これはなんていう意見紹介とか、何かテーブルっていうか、
1:10:17	発生する恐れもありますので、
1:10:20	補える説明は、できるだけ申請書の中で、補っていただきたいと思いません。
1:10:27	本文に書くと、
1:10:30	何て言うんですかね説明の流れとかが悪くなるとかっていうものを、今までほそくうの説明みたいなことで、庄野西郷とか、まとめたりしておりますので、
1:10:40	そういったところ 2、
1:10:42	こちら、なぜですかどこに書いてありますかみたいなところを言ったところは、できるだけ入れる形で、その補正を考えていただきたいと思っている。
1:11:12	はいすみません承知しました附属書になるべく早く記載するようにいたします。
1:11:24	詳細事業とか、
1:11:26	詳細、ちょっと書きにくいものとかもある。取捨選択はさせていただきます。
1:11:37	アライ町のサンゴですけれども、例えば、類似設計と何でこうなってる違いが出てるんですかみたいなのは、
1:11:45	何か
1:11:47	可能性、完結してる申請書の中では類似設計に触れる必要はないとは思うんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:11:54	そうではなくて、何か行間が足りないっていうかその分、その分析と分析の間にもうちょっと説明が必要なんではないかみたいなところは、
1:12:05	あとフィルターをどういうふうに解釈したからこれが保守的であるとかっていうふうに結論づけたみたいな説明はあってもいいんじゃないかなと思ってます。
1:12:15	マツノ自体はこちらが作られるものなので、最終的にはもうそ、こちらの方なんだということで、
1:12:24	けども、できるだけ、
1:12:26	説明を入れておいてもらった方がいろいろ後々いいのかなと思ってますということで、してもらいます。
1:12:36	はい。
1:12:41	一応他ございますか。すいません。
1:12:49	ちょっと。
1:12:52	えっと、移行の4番、いただいた資料ですと、ページ3番。
1:12:59	この中で記載の見直し案として、
1:13:02	ステンレスコウノ腐食に関して、少し
1:13:06	丁寧に書いていただいておりますところあるんですけど、
1:13:09	この見直し案のまた以下のところで、要は、PWRの運転で問題となるような視点でこの色が起こらない。
1:13:18	示されているとあります。
1:13:20	ただ、この運転で問題となるような腐食は起こらないっていう。
1:13:26	の意味するところと、
1:13:28	要は、そういった腐食等でそういう容器として求められる腐食の影響等の因果関係といいましょうか、どちらが列が激しいかとか、
1:13:40	ちょっとそういったところをもう少し書かないと、
1:13:43	いや、PWRの運転では問題になるような腐食は起こらないけど、輸送容器の利用としてはちょっと適さない腐食が起こるんじゃないか。
1:13:53	そういったちょっと誤解を招きかねないので、ちょっとこの文章は、もう少しちょっと再考いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。
1:14:05	はい。
1:14:08	そうですねここで良いとしていることとしては
1:14:14	試験結果で300クドウで
1:14:21	ホウ酸濃度も同様な

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:14:25	濃度で、試験した結果不足がステンレス高に限って言えばあまり腐食が起こらないという。
1:14:36	まあ、結果が出てたのでこのように書きましたけれども、ちょっと
1:14:41	もう少し記載は、修正させていただきたいと思います。
1:14:46	規制、
1:14:47	ありがとう。
1:14:49	続いてちょっと質問させていただきたいと思います。
1:14:52	本日いただきました資料のですね、全部で 56 ページあるうちの 21 ページ目の中に、緑は箇所、
1:15:03	数量、これ落下試験体とNT14P型との間、アカシの比較の考察の文書であるんですけど、
1:15:12	この図読取り六ヶ所以下の傷のところ、一体構造である落下試験体に比べて、断面剛性及び断面積が、
1:15:22	小さいもの買ってるんですけど、これは模擬する試験体とこのNT14P型ってこれ逆じゃないかと思うんですけど
1:15:31	これ、文章表現で正しいでしょうか。
1:15:34	どちらが大きい小さいの、こちらの傷は大丈夫でしょうか。
1:15:52	あ、例年言うそうです。14P型の方が、断面剛性が小さいという意味では、ここに記載してあるのは正しいかなと思います。
1:16:06	ただ次のページの 22 ページを拝見すると、この落下試験体と、この授業キー型で、サイズがちょっと 14P型の方が大きいように見受けられるんですけど、それでも、一応、
1:16:21	この記述は適切、正しいということでしょうか。
1:16:26	そういった意味ではですね落下試験体これあと 2.5 分の 1 スケールなので、
1:16:33	これ、寸法、2.5 分の 1 されているものになりますから、それを
1:16:42	2.5 倍に戻すと。
1:16:43	もう、はい。
1:16:46	14Pの方が
1:16:49	断面構成は小さい。
1:16:51	ということでございます。
1:16:54	わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:16:56	はい。規制庁西田です。そうしますとちょっとその文章、申請書の中でのようにされるかはありますけど、ちょっとその負荷試験たいていのを、
1:17:06	そもそもニイツて送りつけるなのか、それを割り戻してましようか、割り増して実寸変形したものかどうか。
1:17:15	ちょっとそういうところを、補足していただけると、多分誤解は招かないかと思しますので、ちょっとそこら辺の記述も、もう一度ちょっと、
1:17:23	確認していただければ、
1:17:26	はい、承知しました誤解のないように招かないように、はい。同意書を修正させていただきます。
1:17:33	この資料のちょっと次の次のページ、24 ページでございますが、これ 6 NT14Pが転送容器のピンの変形状態、写真がございますけど、
1:17:45	これは後程出てくる水張が昔委託で行った。
1:17:49	実証事業試験における資料から引用してるものでしょうか。もう信用してる方であれば、ここにちょっと最初、
1:17:57	から引用してますとか、そういうのを入れた方がいいと思えますけどいかがでしょう。はい。
1:18:25	すいません。おっしゃる通り、この下側の、
1:18:31	MST14P型の方は、国で行われた試験でして、
1:18:37	ちょっと今SRに、
1:18:40	あるものなので、そのまま載せてしまいましたけれども、
1:18:46	引用はきちんと記載させていただきます。
1:18:54	すみません、規制庁の坂です。
1:18:56	ちょっと細かいところでちょっとこれもまたこの問題になると思い
1:19:05	多分、いただいた資料の 34 ページ目以降から、いわゆるロスをこの変更前、全部 100%を、
1:19:14	その中で
1:19:17	いわゆる
1:19:20	クリープ現象によって、その考慮を考える必要のないものとして、要は今回、記載変更いただいた。
1:19:30	修正ぶりというのが、要は各材料のゆ
1:19:33	3 分の 1 以下だから、
1:19:35	まあ大丈夫なんだという話ですけど、この三分の 1 以下というところはないか、特段、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:19:41	何か意図するところとか何か強調するところなん。
1:19:45	でしょうか。その三分の1でちょっと数字の持つ意味というのが、
1:19:49	あまり何かここで強調する必要がなければ別に何か許容範囲といいま しょうか、そういった設定範囲から下回ってるとか。
1:19:59	未満であるとか、そういうところと言えれば良いと思うんですけど、ちょ っとその意図をお聞かせ。
1:20:13	コメントNo.2番のところですね
1:20:17	もともとただクリープによる変形の考慮する必要のない温度として280 度以下というものを記載していたんですけども、
1:20:27	ちょっとどのような考え方かという。
1:20:30	コメントいただいたものですからこれは主、3分の1、
1:20:37	この丹波市の、はい。
1:20:40	倍熱交のクリープ特性の評価についてという文献。
1:20:45	からですね、Aという点は3分の1まではクリープによる変形生じないっ て書かれていますので、
1:20:51	その旨ちょっと明記させていただいたんですけども、もし、
1:20:58	必要がなければ、
1:21:03	削除させていただきますけど、
1:21:06	どう、どう、
1:21:08	ちょっと規制庁につきまして、ちょっと書きぶりはまたちょっとこれも検討 いただきたいんですけど、おそらく申請書だけを白地で拝見すると、
1:21:19	池谷で個別の例えば視点です。
1:21:22	何とか、
1:21:23	拡大5って、いきなり3分の1というふうに出てくる
1:21:27	というところがもしかすると、先ほど規制庁のアノさんの方からも、
1:21:33	ちょっと補足あった通り、専門の人にとっては、こういった一般的に重金 属の場合は言うて、3分の1付近だっていうのが、暗黙のもう知識とし てわかってるかもしれないですけど、
1:21:45	一般の人も含めて、シライでこの申請書、
1:21:49	なぜ3分の1っていうのが、
1:21:51	は
1:21:52	もしかしたら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:21:53	何か疑問とか質問とか、ちょっとを変えるまでかねないので、場合によってはこの吉尾衛藤のところ、ちょっとくどいようになるかもしれませんが、この、
1:22:05	回答にも書いてあるように
1:22:08	一般に、こういった純金属の場合は、まあ言うて三名。
1:22:13	ではマックリー変形は生じないとか、ちょっとそういった一言があった方が良くもしいないです。ちょっとそこは最終的には申請、
1:22:22	書、作成いただくにあたって、ちょっとそこが御社の判断。
1:22:28	ですけど、ちょっとそこ確認だけど、
1:22:33	はい承知しました。もう少し丁寧に、
1:22:38	一般の方にもわかりやすいように、
1:22:41	朗詠不破アノ書き直したいと思います。
1:22:44	規制庁、高木です。ありがとうございました。最後に言って、今回の申請書の中で、とろ小P2 ページのところ、
1:22:54	要は、
1:22:56	輸送物から火炎にさらされた場合ということで、
1:23:00	表面の吸収率が 0.8mmたいと。
1:23:03	これはIAEAのSSRVIからモリイを、
1:23:09	もったきっちり張りでおるんですけど、
1:23:12	それが何か 1996 年版からに基づきと書いておりました、
1:23:18	おそらくちょっとこういうところは、おそらくIBMの一井さん、或いは、
1:23:22	そうそう変わるものじゃないですけど、最終版のエディションにちょっと合わせていただければと。
1:23:28	エディションが、
1:23:31	承知しました。はい。
1:23:34	規制庁井坂です。ありがとうございます。私から以上です。
1:23:41	規制庁サンゴですけど他にございますか。
1:23:48	規制庁側からよろしいですかね。
1:23:52	現在磯側から何か話したいことがあれば、どうぞ。はい。
1:24:00	大井ますか。
1:24:03	はい。
1:24:04	はい。
1:24:06	現年ソウノマツモトです。ありがとうございましたアノ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:24:11	んじゃないんですが今後なんですけどいただいたご趣旨Cを踏まえてですね修正用補正の準備に入りたいと。
1:24:23	思ってます
1:24:24	できる。
1:24:25	百々野倉伊井のタイミングで補正。
1:24:30	とかですねそちら側のご希望とかございます。すごい。
1:24:40	こちらをできた。
1:24:42	すいません、規制庁さんですけれどもちょっと質問の出資がよくわからなかったんですけれども、
1:24:49	はい。うん。
1:24:52	はい。したらいいんですけれども、安全性の観点から言えば輸送しなければ、一般公衆危険にさらされることはないので、生育して欲しいですかって聞かれたら、
1:25:03	やらないで取り下げてもらった方が安全だ。
1:25:07	わかりました。
1:25:10	そしたら補正を準備させていただいて
1:25:13	歴史次第ですね
1:25:17	を送付、お知らせするようにいたします。はい。それで、多分それで受け取り側が、例えば出張とか稲井とかそういった日程を確認したいというんであれば、今現在、
1:25:30	そういった予定はないので、また浮き上がって出しますっていうときに連絡いただければと思いますけれども。
1:25:37	はい、ありがとうございます。はい。予想させていただきます。
1:25:48	よろしいですか後は、はい。
1:25:52	後は特に大丈夫です。はい。
1:25:55	はい、わかりました。規制庁佐田ですけどそれではこれで原燃輸送株式会社とのヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。
1:26:04	ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。